

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2024年4月25日

都道府県知事

病院名 近畿大学病院  
開設者 学校法人近畿大学 理事長 世耕弘成

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令（平成14年厚生労働省令第158号）第12条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第9条に基づき、 1. 研修プログラムの変更、 2. 研修プログラムの新設を届け出ます。（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

1. 基幹型臨床研修病院  2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書-1-から-5-まで及び別紙1については、臨床研修プログラム検索サイトの画面を印刷したもの（不足する項目は適宜加筆すること）等必要な項目がわかるものを代わりに添付していただいても構いません。
- ・項目番号1から25までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号26から36までについても記入してください。

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 1 ー

病院施設番号：030514

臨床研修病院の名称：近畿大学病院

記入日：西暦 2024 年 4 月 25 日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030514	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称  番号
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ フクモト 氏名(姓)  福本	シホ (名)  志穂	役職 医学教育研修課 課長代理 (内線 3727) (直通電話 (072) 366—0221) e-mail: <a href="mailto:kensyui@med.kindai.ac.jp">kensyui@med.kindai.ac.jp</a> <small>(携帯電話のメールアドレスは不可とします。)</small>
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ キンキダイガクビョウイン 近畿大学病院		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">5</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">8</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">9</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">8</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">5</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">1</span> ( 大阪 都・道・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 0 2px;">府</span> ・県) 大阪狭山市大野東 377-2  電話：( 072 ) 366 — 0221 FAX：( 072 ) 365 — 5172  二次医療圏 の名称： 南河内		
3. 病院の開設者の氏名(法 人の名称) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ セコウ ヒロシゲ 世耕 弘成		
4. 病院の開設者の住所(法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">5</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">7</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">7</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">8</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">5</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">0</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">2</span> ( 大阪 都・道・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 0 2px;">府</span> ・県) 東大阪市小若江 3-4-1  電話：( 06 ) 6721 — 2332 FAX：( ) —		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ トウダ 姓 東田	ユウチ 姓 有智	
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙 1 に記入 研修管理委員会のすべての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成するすべての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型・協力型記入)</small>	<a href="https://www.med.kindai.ac.jp/">https://www.med.kindai.ac.jp/</a>		

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－２－

病院施設番号：030514

臨床研修病院の名称：近畿大学病院

	※	
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤： 571 名、非常勤（常勤換算）： 15.8 名 計（常勤換算）： 719.6 名、医療法による医師の標準員数： 155 名 * 研修医の氏名等について様式3に記入
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦 2020 年 12 月 7 日（更新）告示番号：第 号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 ②. 第二次救急医療機関 ③. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	①. 有（ 220.140 ）m <sup>2</sup> 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 10,418 件（うち診療時間外： 7,846 件） 1日平均件数： 28.5 件（うち診療時間外： 21.5 件） 救急車取扱件数： 6,718 件（うち診療時間外： 4,792 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 2 名、看護師及び准看護師： 12 名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系（①. 有 0. 無） 外科系（①. 有 0. 無） 小児科（1. 有 ①. 無） その他（ ）
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 916 床、2. 精神： 0 床、3. 感染症： 0 床 4. 結核： 0 床、5. 療養： 0 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 10.5 日、2. 精神： 0 日、3. 感染症： 0 日 4. 結核： 0 日、5. 療養： 0 日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数： 104 件、異常分娩件数： 105 件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績： 13 回、今年度見込： 14 回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記載
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入
	剖検数	前年度実績： 15 件、今年度見込： 15 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 ①. 有 0. 無（ ）大学、（ ）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	①. 有（単身用： 6 戸、世帯用： 戸） 0. 無（住宅手当： 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	①. 有（ 2 室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	（ 2424.000 ）m <sup>2</sup>
	医学図書数	国内図書： 45,913 冊、国外図書： 72,262 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 1,098 種類、国外雑誌： 1,838 種類
	図書室の利用可能時間	8 : 45 ~ 22 : 00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース（①. 有 0. 無）、教育用コンテンツ（①. 有 0. 無）、 その他（ 電子ジャーナル ） 利用可能時間（ 0 : 00 ~ 24 : 00 ）24時間表記
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター（①. 有 0. 無）、 その他（ ）

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号：030514

臨床研修病院の名称：近畿大学病院

18. 病歴管理体制 (基幹型・協力型記入)	病歴管理の責任者の氏名及び役職	川がナ マツムラ ノリオミ 氏名(姓) 松村 (名) 謙臣 役職 診療情報管理部長	
	診療に関する諸記録の管理方法	①. 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に: )	
	診療録の保存期間	( 20 ) 年間保存	
	診療録の保存方法	1. 文書 2. 電子媒体 その他(具体的に: 平成20年1月11日以前は紙カルテを1患者1カルテで保管。平成20年1月12日以降は電子カルテで保管。)	
19. 医療安全管理体制 (基幹型・協力型記入)	安全管理者の配置状況	①. 有 ( 2 名) 0. 無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。	
	安全管理部門の設置状況	職員: 専任 ( 5 ) 名、兼任 ( 13 ) 名 主な活動内容: ①定期的な医療安全対策部会議を開催し、必要事項を管理委員会に勧告する②医療安全に関する現場情報収集及び実態調査③定期的な現場巡回・点検・マニュアルの遵守状態の点検④マニュアル作成および点検並びに見直しの提言等⑤アクシデント・インシデントレポートの収集・保管、分析、分析結果などの現場へのフィードバックと集計結果の管理、具体的な改善策の提案・推進とその評価⑥医療安全に関する最新情報の把握と職員への周知⑦医療安全に関する職員への啓発、広報⑧医療安全に関する職員研修の企画、立案、運営	
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等:	川がナ ミナミ ユキヒロ
		氏名(姓) 南	征宏
		役職	総務グループ 次長
		対応時間 ( 9 : 00 ~ 17 : 00 ) 24時間表記	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	患者相談窓口に係る規約の有無:	①. 有 0. 無
		指針の主な内容:	1. 総則 2. 安全管理委員会 3. 安全管理センター 4. リスクマネージャー 5. 報告等にもとづく医療に係る安全確保を目的とした改善方策 6. 安全管理マニュアル 7. 医療安全管理の為に研修 8. 事故発生時の対応 9. 高難度新規医療技術等 10. 患者相談窓口 11. その他
医療に係る安全管理委員会の開催状況	年 ( 29 ) 回	活動の主な内容: 1. 安全管理部門の報告を受け、医療安全管理の検討及び研究に関する事 2. 医療事故の分析及び再発防止策の検討並びに委員会によって立案された防止対策及び改善策の実地状況の調査及び見直しに関する事 3. 医療安全管理の為にを行う職員に対する指示に関する事 4. 医療安全管理の為にを行う病院長等に対する提言に関する事 5. 医療安全管理のための啓発、教育、広報活動及び出版に関する事 6. 医療訴訟に関する事 7. その他の医療安全に関する事	
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 ( 9 ) 回	1. Kindai University Hospital での医療安全における多様性を科学する 2. 医療の質の経済を考える-医療の質への投資は無駄なのか? 3. いま話題の「かかりつけ医機能」の議論 4. 医療安全と臨床倫理を考える 5. 虐待への気づきとその対応、もう一度確認しよう-医療現場で行うべき個人情報保護 6. 医療ガス・吸引ポット・低圧持続吸引の取扱いについて 4. 接触嚥下について 転倒転落について 7. 医療従事者が知っておくべきスキンヘア、造影剤・体内金属の注意点について 8. 2023年度の医薬品関連インシデント江お振り返って、せん妄から抑制まで-医師にも知ってほしい-転倒・転落は医療事故原因の主人公 9. 中心静脈穿刺講習会	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備:	①. 有 0. 無	
	その他の改善のための方策の主な内容:	リスクマネージャー会議等を通じて全職員へ周知するとともに、院内LANに掲載し周知を図り、改善策の徹底を図っている。また、安全管理研修参加状況の個人識別化を実地している。	

20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 (基幹型・協力型記入)		修了： 36 名 中断： 0 名												
21. 現に受け入れている研修医の数 (基幹型・協力型記入)		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>前々年度</th> <th>前年度</th> <th>当該年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 年</td> <td>37</td> <td>36</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>2 年</td> <td>29</td> <td>36</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table>		前々年度	前年度	当該年度	1 年	37	36	37	2 年	29	36	36
	前々年度	前年度	当該年度											
1 年	37	36	37											
2 年	29	36	36											
22. 受入可能定員 (基幹型・協力型記入)	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出	許可病床数 ( 916 ) 床 ÷ 10 = ( 91.6 ) 名												
	患者数から算出	年間入院患者数 ( 23,551 ) 人 ÷ 100 = ( 235.51 ) 名												
項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※												
23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 (基幹型・協力型記入) 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。		1. 精神保健福祉士： 7 名 (常勤： 7 名、非常勤： 0 名) 2. 作業療法士： 6 名 (常勤： 6 名、非常勤： 0 名) 3. 臨床心理技術者： 5 名 (常勤： 4 名、非常勤： 1 名) 9. その他の精神科技術職員： 0 名 (常勤： 0 名、非常勤： 0 名)												
24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 (基幹型記入)		①. 有 (評価実施機関名：NPO 法人卒後臨床研修評価機構 (令和 4 年 5 月 1 日)) ②. 無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。												
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)		* 別紙 5 に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。												
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)		女性 1 年次研修医 ( 0 ) 名 2 年次研修医 ( 0 ) 名 男性 1 年次研修医 ( 0 ) 名 2 年次研修医 ( 0 ) 名												
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所	院内保育所の有無 (①. 有 ②. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください ( 7 時 30 分 ~ 19 時 00 分 ) 病児保育 ( 1. 有 ②. 無 ) 夜間保育 (①. 有 ②. 無) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (①. 可 ②. 不可)												
	保育補助	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 ( 1. 有 ②. 無 ) その他の補助 (具体的に： )												
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所	休憩場所 (①. 有 ②. 無) 授乳スペース ( 1. 有 ②. 無 )												
	その他育児関連施設・取組があれば記入 (院外との連携した取組もあれば記入)	( )												
	研修医のライフイベントの相談窓口	1. 有 ②. 無 窓口の名称がある場合記入 ( ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 名 ) ②. 無												
	各種ハラスメントの相談窓口	窓口の名称を記 ( 相談室 ) 窓口の専任担当 ①. 有 ( 1 名 ) ②. 無												
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。														
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		研修プログラムの名称：初期臨床研修プログラム プログラム番号： 030514807												
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)		1 年次： 33 名、2 年次： 32 名												

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 5 －

病院施設番号： 030514

臨床研修病院の名称： 近畿大学病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

<b>30. 研修医の募集及び採用の方法</b> <small>(基幹型記入)</small>	研修プログラムに関する問い合わせ先	フリガナ	フクモト		シホ	
		氏名(姓)			氏名(姓)	
		福本			志穂	
		所属			役職	
		医学教育研修課			課長代理	
		電話：(072) 366 — 0221 FAX：(072) 365 — 5172 e-mail：kensyui@med.kindai.ac.jp URL：https://gmect.jp/				
資料請求先	住所 〒 <input type="text" value="5"/> <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="9"/> <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="5"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="1"/> (大阪 都・道・ 県) 大阪狭山市大野東 377-2					
	担当部門	担当者氏名				
		フリガナ	フクモト		シホ	
		姓	福本	名	志穂	
	電話：(072) 366 — 0221 FAX：(072) 365 — 5172 e-mail：kensyui@med.kindai.ac.jp URL：https://gmect.jp/					
	①. 公募 ②. その他(具体的に： )					
①. 履歴書、②. 卒業(見込み)証明書、③. 成績証明書、 ④. 健康診断書、⑤. その他(具体的に： )						
①. 面接 ②. 筆記試験 その他(具体的に：小論文、適性検査)						
募集時期： 6 月 1 日頃から 選考時期： 7 月 1 日頃から						
①. 有 ②. 無						
<b>31. 研修プログラムの名称及び概要</b> <small>(基幹型記入)</small>		概要：* 別紙3に記入 (作成年月日：西暦 年 月 日)				
<b>32. プログラム責任者の氏名等(副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等)</b> <small>(基幹型記入)</small> * プログラム責任者の履歴を様式2に記入 * 副プログラム責任者が配置されている場合には、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入		(プログラム責任者) フリガナ イワナガ タカシ 氏名(姓) 岩永 氏名(名) 賢司 所属 役職 総合医学教育研修センター センター長 (副プログラム責任者) ①. 有 ( 3 名) ②. 無				
<b>33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等</b> <small>(基幹型記入)</small> すべての臨床研修指導医等(協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。)について氏名等を記入してください。		* 別紙4に記入				
<b>34. インターネットを用いた評価システム</b>		①. 有 ( ・EPOC ・その他( ) ) ②. 無				
<b>35. 研修開始時期</b> <small>(基幹型、地域密着型記入)</small>		西暦 2024 年 4 月 1 日				
<b>36. 研修医の処遇</b> <small>(基幹型・協力型記入)</small>	処遇の適用 <small>(基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。)</small>	1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 ②. 病院独自の処遇とする。				
	常勤・非常勤の別					
		1. 常勤 ②. 非常勤				

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号： 030514

臨床研修病院の名称： 近畿大学病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇 (続き) (基幹型・協力型記入)	研修手当	一年次の支給額 (税込み) 基本手当/月 ( 300,000 円) 賞与/年 ( 円)	二年次の支給額 (税込み) 基本手当/月 ( 300,000 円) 賞与/年 ( 円)
		時間外手当： 1. 有 <input type="radio"/> 無 休日手当： 1. 有 <input type="radio"/> 無	
	勤務時間	基本的な勤務時間 ( 9 : 00 ~ 17 : 15 ) 24 時間表記休憩時間 ( 12 : 00 ~ 13 : 00 ) 時間外勤務の有無： 1. 有 <input type="radio"/> 無	
	休暇	有給休暇 ( 1 年次： 10 日、2 年次： 11 日 ) 夏季休暇 ( 1. 有 <input type="radio"/> 無 ) 年末年始 ( <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 ) その他休暇 ( 具体的に： 創立記念日 )	
	当直	回数 ( 約 4 回 / 月 )	
	研修医の宿舎 (再掲)	①. 有 ( 単身用： 6 戸、世帯用： 戸 ) ②. 無 ( 住宅手当： 円 ) <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。                  無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small>	
	研修医室 (再掲)	①. 有 ( 2 室 ) ②. 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small>	
	社会保険・労働保険	公的医療保険 ( 日本私立学校振興・共済事業団 ) 公的年金保険 ( 日本私立学校振興・共済事業団 ) 労働者災害補償保険法の適用 ( <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 )、 国家・地方公務員災害補償法の適用 ( 1. 有 <input type="radio"/> 無 ) 雇用保険 ( <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 )	
	健康管理	健康診断 ( 年 2 回 ) その他 ( 具体的に )	
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入 ( <input type="radio"/> する <input type="radio"/> しない ) 個人加入 ( 1. 強制 <input type="radio"/> 任意 )	
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加： <input type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無： 1. 有 <input type="radio"/> 無	
	院内保育所 (再掲)	院内保育所の有無 ( <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 ) <small>有を選択した場合、開所時間を記入してください ( 7 時 30 分 ~ 19 時 00 分 )</small> 病児保育 ( 1. 有 <input type="radio"/> 無 ) 夜間保育 ( <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 ) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か ( <input type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 不可 )	
	保育補助 (再掲)	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 ( 1. 有 <input type="radio"/> 無 ) その他の補助 ( 具体的に： )	
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所 (再掲)	休憩場所 ( <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 ) 授乳スペース ( 1. 有 <input type="radio"/> 無 )	
	その他育児関連施設・取組があれば記入 (院外との連携した取組もあれば記入) (再掲)	( )	
	研修医のライフイベントの相談窓口 (再掲)	1. 有 <input type="radio"/> 無 窓口の名称がある場合記入 ( ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 名 ) ②. 無	
	各種ハラスメントの相談窓口 (再掲)	窓口の名称を記 ( 相談室 ) 窓口の専任担当 <input type="radio"/> 有 ( 1 名 ) ②. 無	
	37. 研修医手帳 (基幹型記入)	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
	38. 連携状況 (基幹型記入)	* 様式 6 に記入	

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－５－

病院施設番号： 030514

臨床研修病院の名称： 近畿大学病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

<b>28. 研修プログラムの名称</b> <small>(基幹型・協力型記入)</small> プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。	研修プログラムの名称：周産期・小児科・産婦人科プログラム プログラム番号： 030514808												
<b>29. 研修医の募集定員</b> <small>(基幹型記入)</small>	1年次： 4 名、2年次： 4 名												
<b>30. 研修医の募集及び採用の方法</b> <small>(基幹型記入)</small>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">フリガナ フクモト</td> <td style="width: 50%;">シホ</td> </tr> <tr> <td>氏名(姓) 福本</td> <td>氏名(姓) 志穂</td> </tr> <tr> <td>所属 医学教育研修課</td> <td>役職 課長代理</td> </tr> <tr> <td colspan="2">電話：(072) 366 — 0221 FAX：(072) 365 — 5172</td> </tr> <tr> <td colspan="2">e-mail：kensyui@med.kindai.ac.jp</td> </tr> <tr> <td colspan="2">URL：https://gmect.jp/</td> </tr> </table>	フリガナ フクモト	シホ	氏名(姓) 福本	氏名(姓) 志穂	所属 医学教育研修課	役職 課長代理	電話：(072) 366 — 0221 FAX：(072) 365 — 5172		e-mail：kensyui@med.kindai.ac.jp		URL：https://gmect.jp/	
フリガナ フクモト	シホ												
氏名(姓) 福本	氏名(姓) 志穂												
所属 医学教育研修課	役職 課長代理												
電話：(072) 366 — 0221 FAX：(072) 365 — 5172													
e-mail：kensyui@med.kindai.ac.jp													
URL：https://gmect.jp/													
研修プログラムに関する問い合わせ先  資料請求先	住所 〒 5 8 9 8 5 1 1 (大阪 都・道・ 県) 大阪狭山市大野東 377-2  <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">担当部門</td> <td>担当者氏名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>フリガナ フクモト シホ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>姓 福本 名 志穂</td> </tr> </table> 電話：(072) 366 — 0221 FAX：(072) 365 — 5172 e-mail：kensyui@med.kindai.ac.jp URL：https://gmect.jp/	担当部門	担当者氏名		フリガナ フクモト シホ		姓 福本 名 志穂						
担当部門	担当者氏名												
	フリガナ フクモト シホ												
	姓 福本 名 志穂												
募集方法	①. 公募 ②. その他(具体的に： )												
応募必要書類 <small>(複数選択可)</small>	①. 履歴書、②. 卒業(見込み)証明書、③. 成績証明書、 ④. 健康診断書、⑤. その他(具体的に： )												
選考方法 <small>(複数選択可)</small>	①. 面接 ②. 筆記試験 その他(具体的に：小論文、適性検査)												
募集及び選考の時期	募集時期： 6 月 1 日頃から 選考時期： 7 月 1 日頃から												
マッチング利用の有無	①. 有 ②. 無												
<b>31. 研修プログラムの名称及び概要</b> <small>(基幹型記入)</small>	概要：* 別紙3に記入 (作成年月日：西暦 年 月 日)												
<b>32. プログラム責任者の氏名等(副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等)</b> <small>(基幹型記入)</small> * プログラム責任者の履歴を様式2に記入 * 副プログラム責任者が配置されている場合には、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入	(プログラム責任者) フリガナ スギモト ケイスケ 氏名(姓) 杉本 氏名(名) 圭相  所属 小児科 役職 教授 (副プログラム責任者) 1. 有( 名) ②. 無												



33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 (基幹型記入) すべての臨床研修指導医等(協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。)について氏名等を記入してください。		* 別紙4に記入	
34. インターネットを用いた評価システム		①. 有 ( ・EPOC ・その他 ( ) ) 0. 無	
35. 研修開始時期 (基幹型、地域密着型記入)		西暦 2024 年 4 月 1 日	
36. 研修医の処遇 (基幹型・協力型記入)	処遇の適用 (基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。)	1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。	
	常勤・非常勤の別	②. 病院独自の処遇とする。 1. 常勤 ②. 非常勤	
36. 研修医の処遇（続き） (基幹型・協力型記入)	研修手当	一年次の支給額（税込み） 基本手当／月（ 300,000 円） 賞与／年（ 円）	二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（ 300,000 円） 賞与／年（ 円）
		時間外手当： 1. 有 ①. 無 休日手当： 1. 有 ①. 無	
	勤務時間	基本的な勤務時間（ 9：00～17：15） 24時間表記休憩時間（ 12：00～13：00） 時間外勤務の有無： 1. 有 ①. 無	
	休暇	有給休暇（1年次： 10 日、2年次： 11 日） 夏季休暇（1. 有 ①. 無） 年末年始（①. 有 0. 無） その他休暇（具体的に： 創立記念日）	
	当直	回数（約 4 回／月）	
	研修医の宿舍（再掲）	①. 有（単身用： 6 戸、世帯用： 戸） 0. 無（住宅手当： 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。	
	研修医室（再掲）	①. 有（ 2 室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。	
	社会保険・労働保険	公的医療保険（ 日本私立学校振興・共済事業団 ） 公的年金保険（ 日本私立学校振興・共済事業団 ） 労働者災害補償保険法の適用（①. 有 0. 無）、 国家・地方公務員災害補償法の適用（1. 有 ①. 無） 雇用保険（①. 有 0. 無）	
	健康管理	健康診断（年 2 回） その他（具体的に ）	
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入（①. する 0. しない） 個人加入（1. 強制 ①. 任意）	
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加：①. 可 0. 否	
		学会、研究会等への参加費用支給の有無： 1. 有 ①. 無	
	院内保育所（再掲）	院内保育所の有無（①. 有 0. 無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください（ 7 時 30 分 ～ 19 時 00 分）	
		病児保育（1. 有 ①. 無） 夜間保育（①. 有 0. 無）	
上記保育所は研修医の子どもに使用可能か（①. 可 0. 不可）			
保育補助（再掲）	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助（1. 有 ①. 無）		
	その他の補助（具体的に： ）		
体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）	休憩場所（①. 有 0. 無） 授乳スペース（1. 有 ①. 無）		
その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）	（ ）		
研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）	1. 有 ①. 無 窓口の名称がある場合記入（ ） 窓口の専任担当 1. 有（ 名） 0. 無		
各種ハラスメントの相談窓口（再掲）	窓口の名称を記（ 相談室 ） 窓口の専任担当 ①. 有（ 1 名） 0. 無		

37. 研修医手帳 (基幹型記入)	①. 有 0. 無
39. 連携状況 (基幹型記入)	* 様式6に記入

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているため、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 (基幹型・協力型記入)と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院のすべての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から27までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号28から39までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。
- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成するすべての臨床研修病院、大学病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。
- 13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。
- 14 「医師(研修医を含む。)の員数」欄について
  - (1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号)に基づき、当該病院に勤務する医師(研修医を含む。)について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
  - (2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間のすべてを勤務する者をいうものであること。
  - (3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。
 

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数 (小数第二位を四捨五入)}$$
  - (4)「計(常勤換算)」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
  - (5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること(患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。)。
 

※ 算出式

$$\left[ \frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数 (歯科の入院患者数を除く。)} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数 (歯科の入院患者数を除く。)}}{3} + \frac{\text{外来患者数 (精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。)}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{5} - 52 \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。
  - (6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っているすべての研修医の氏名等について、様式3に記入すること(歯科医師は記入しない。)
- 15 「救急医療の提供の実績」欄について
  - (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
  - (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
  - (3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
  - (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、すべての件数)、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうち来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
  - (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
  - (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
  - (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
- 16 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。
- 17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日午後12時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び

退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2 (\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会（CPC）の実施状況」欄について
- （1）「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入すること。
- （2）「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- （3）「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「（ ）大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「（ ）病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- （1）「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。）。
- （2）「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- （1）「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
- （2）「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- （1）「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
- （2）「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- （1）「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
- （2）「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- （3）「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。
- 24 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。
- 25 「当該病院からの医師派遣実績」欄は、「加算する数値については、研修医の募集を行う年度の前年度末の時点で医師派遣等が行われている常勤の医師数が20人以上の場合を1とし、5人増える毎に1を加え、80人以上の場合を13」とする。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。
- 28 「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、
- （1）「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「1. 有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「0. 無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもにも使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「1. 可」に○をし、預けることができない場合は「0. 不可」に○をすること。
- （2）「保育補助」欄は、ベビーシッターや一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- （3）「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。
- （4）「その他育児関連施設・取組」欄は、上記（10）～（12）に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
- （5）「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。「1. 有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。

- (6) 「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がない場合は「0. 無」に○をすること。
- 29 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 30 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOC かその他を選択すること。
- 31 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。
- 32 「研修医の募集及び採用の方法」欄について
- (1) 「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2) 「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類すべてに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3) 「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するものすべてに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (4) 「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
- (5) 「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。
- 32 「研修医の処遇」欄について
- (1) 「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2) 「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3) 「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4) 「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
- (5) 「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
- (6) 「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
- (7) 「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
- (8) 「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
- (9) 「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

## 6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数(令和5年度開催回数 3回)

(No.)

構成員の氏名等

病院施設番号:030514

大学病院の名称:近畿大学病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ イワナガ タカシ 姓 岩永 名 賢司	総合医学教育研修センター	総合医学教育研修センター長	研修管理委員長 初期臨床研修プログラム責任者 指導医
フリガナ トウダ ユウヂ 姓 東田 名 有智	呼吸器・アレルギー内科	病院長 教授	指導医
フリガナ スギモト ケイスケ 姓 杉本 名 圭相	小児科	教授	周産期・小児科・産婦人科プログラム責任者 指導医
フリガナ マツムラ トシオミ 姓 松村 名 謙臣	産婦人科	教授	初期臨床研修プログラム副責任者 指導医
フリガナ カミサコ トシノリ 姓 上裕 名 俊法	臨床検査医学	総合医学教育研修センター 副センター長 教授	指導医
フリガナ オオツキ トシホ 姓 大槻 名 俊輔	脳卒中センター	総合医学教育研修センター 副センター長 教授	指導医
フリガナ チクゴ タカアキ 姓 筑後 名 孝章	病理診断科	総合医学教育研修センター 副センター長 准教授	指導医
フリガナ ヒラノ ユタカ 姓 平野 名 豊	循環器内科	総合医学教育研修センター 副センター長 准教授	指導医
フリガナ マツムラ コウイチロウ 姓 松村 名 光一郎	循環器内科	医学部講師	指導医
フリガナ ノウソウ シンスケ 姓 能宗 名 伸輔	内分泌・糖尿・代謝内科	講師	指導医
フリガナ ワタナベ トモヒロ 姓 渡邊 名 智裕	消化器内科	准教授	指導医
フリガナ モリタ ヤスヨシ 姓 森田 名 泰慶	血液・膠原病内科	講師	指導医
フリガナ キノシタ コウジ 姓 木下 名 浩二	血液・膠原病内科	教授	指導医 初期臨床研修副プログラム責任者
フリガナ ナカタニ ヨシヒサ 姓 中谷 名 嘉寿	腎臓内科	准教授	指導医
フリガナ ヒラノ マキト 姓 平野 名 牧人	脳神経内科	教授	指導医
フリガナ タニザキ ジュンコ 姓 谷崎 名 潤子	腫瘍内科	医学部講師	指導医
フリガナ サノ アキコ 姓 佐野 名 安希子	呼吸器・アレルギー内科	医学部講師	指導医
フリガナ サクタ シズカ 姓 佐久田 名 静	メンタルヘルス科	医学部助教	指導医
フリガナ マルタニ サトシ 姓 丸谷 名 怜	小児科	講師	指導医
フリガナ コモイケ ヨシフミ 姓 菰池 名 佳史	外科(乳腺内分泌部門)	教授	指導医
フリガナ マツモト イツペイ 姓 松本 名 逸平	外科(肝胆膵部門)	教授	指導医
フリガナ ナカノ ナオキ 姓 中野 名 直樹	脳神経外科	准教授	指導医
フリガナ ユガミ シンタロウ 姓 湯上 名 晋太郎	心臓血管外科	医学部講師	指導医

## 6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数(令和5年度開催回数 3回)

(No.)

構成員の氏名等

病院施設番号:030514

大学病院の名称:近畿大学病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ ニシムラ シュンジ 姓 西村 名 俊司	整形外科	医学部講師	指導医
フリガナ イトカズ マキ 姓 系数 名 万紀	リハビリテーション科	医学部講師	指導医
フリガナ ナカジマ チサ 姓 中嶋 名 千紗	皮膚科	医学部講師	指導医
フリガナ サトウ ミツオ 姓 佐藤 名 満雄	耳鼻咽喉・頭頸部外科	医学部講師	指導医
フリガナ クニヨシ カズキ 姓 國吉 名 一樹	眼科	講師	指導医
フリガナ スエヨシ ユウ 姓 末吉 名 遊	形成外科	医学部講師	指導医
フリガナ モリ ヤスノリ 姓 森 名 康範	泌尿器科	医学部講師	指導医
フリガナ カント アキコ 姓 貫戸 名 明子	産婦人科	医学部講師	指導医
フリガナ マツモト トモユキ 姓 松本 名 知之	麻酔科	助教	指導医
フリガナ ドイ ケイジ 姓 土井 名 啓至	放射線科(腫瘍学部門)	講師	指導医
フリガナ カイダ ユウト 姓 甲斐田 名 勇人	放射線科(診断学部門)	講師	指導医
フリガナ イシベ タクヤ 姓 石部 名 琢也	救急医学教室/救命救急センター	医学部講師	指導医
フリガナ タナカ ユウジ 姓 田中 名 裕滋	臨床検査医学	医学部講師	指導医
フリガナ タケダ タカシ 姓 武田 名 卓	東洋医学研究所	教授	指導医
フリガナ ナカマ チカコ 姓 中間 名 千香子	環境医学・行動科学教室 地域医療	環境医学・行動科学教室 助教 地域医療	指導医
フリガナ フルカワ サトシ 姓 古川 名 諭	薬剤部	技術科長	
フリガナ ヨシトミ カズエ 姓 吉富 名 一恵	中央臨床検査部	技師長代行	
フリガナ アサイ ヨシユキ 姓 浅井 名 義行	中央放射線	副技師長	
フリガナ アオキ マリ 姓 青木 名 真理	看護部	看護部長	
フリガナ キノシタ ヒロキ 姓 木下 名 弘規	総合医学教育研修センター	研修医2年目	
フリガナ イヌイ リサ 姓 乾 名 里紗	総合医学教育研修センター	研修医2年目	
フリガナ エズミ リクシ 姓 江角 名 陸志	総合医学教育研修センター	研修医1年目	
フリガナ ナカジ マリカ 姓 中路 名 茉莉花	総合医学教育研修センター	研修医1年目	
フリガナ フジワラ アキヒコ 姓 藤原 名 昭彦	医学部・病院運営本部	本部長	事務部門責任者
フリガナ オオミヤ アツシ 姓 大宮 名 敦史	医学部・病院運営本部	企画室長	

## 6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数(令和5年度開催回数 3回)

(No.)

構成員の氏名等

病院施設番号:030514

大学病院の名称:近畿大学病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ イカワ マサト 姓 猪川 名 正人	医学部・病院運営本部	医学部学生センター 事務部長	
フリガナ ドイ イクジ 姓 土井 名 生資	医学部・病院運営本部	総務グループ長 部長	
フリガナ ツジイ ユミ 姓 辻井 名 由美	医学部・病院運営本部	人事グループ長 部長	
フリガナ フクモト シホ 姓 福本 名 志穂	医学部・病院運営本部	医学教育研修課 課長代理	
フリガナ ヤマナカ ヒデハル 姓 山中 名 英治	社会医療法人若弘会 若草第一病院	院長兼臨床研修管理室長	研修実施責任者
フリガナ オオシマ シロウ 姓 大島 名 至郎	独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター	臨床研究部長	研修実施責任者
フリガナ タカハシ ケンイチ 姓 高橋 名 憲一	市立岸和田市民病院	事務局経営管理課総務管理担当長	研修実施責任者
フリガナ カラスノ タカヒロ 姓 烏野 名 隆博	りんくう総合医療センター	診療局長兼血液内科主任部長	研修実施責任者
フリガナ スキウラ トシロ 姓 杉浦 名 寿央	国家公務員共済組合連合会 大手前病院	診療部長	研修実施責任者
フリガナ カワサキ サダオ 姓 川崎 名 貞男	独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター	教育研修部長	研修実施責任者
フリガナ オキナガ タケシ 姓 沖永 名 剛志	ベルランド総合病院	副院長、小児科部長	研修実施責任者
フリガナ カワグチ チハル 姓 川口 名 千晴	大和高田市立病院	副院長	研修実施責任者
フリガナ クボタ タケシ 姓 窪田 名 剛	大阪府済生会 富田林病院	副院長	指導医 研修実施責任者
フリガナ モリタ タケシ 姓 森田 名 剛史	医療法人徳洲会 松原徳洲会病院	副院長	指導医 研修実施責任者
フリガナ キン コウコク 姓 金 名 鏞国	市立貝塚病院	副院長兼診療局外科・消化器外科主任部長	研修実施責任者 指導医
フリガナ オオヒラ マサイチ 姓 大平 名 雅一	社会医療法人ペガサス 馬場記念病院	院長	研修実施責任者
フリガナ ナカオ テルトシ 姓 中尾 名 照逸	医療法人宝生会 PL病院	センター長	研修実施責任者
フリガナ ムラキ マサト 姓 村木 名 正人	近畿大学奈良病院	病院長	指導医 研修実施責任者
フリガナ ニシザワ ケイイチ 姓 西澤 名 圭一	近畿大学奈良病院	総務課 課長	
フリガナ キノシタ セイジロウ 姓 木下 名 清二郎	医療法人養心会 国分病院	診療支援部長	研修実施責任者

## 6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数(令和5年度開催回数 3回)

(No.)

構成員の氏名等

病院施設番号:030514

大学病院の名称:近畿大学病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ クロダ ケンジ 姓 黒田 名 健治	医療法人杏和会 阪南病院	院長	研修実施責任者
フリガナ スギモト ミワ 姓 杉本 名 美和	医療法人恒昭会 青葉丘病院	精神科医員	研修実施責任者
フリガナ ナガタ マサヒロ 姓 永田 名 昌弘	医療法人桐葉会 木島病院	副院長	研修実施責任者
フリガナ テラカワ カズヒコ 姓 寺川 名 和彦	医療法人育和会 育和会記念病院	副院長	研修実施責任者
フリガナ ナガノ タツシ 姓 永野 名 龍司	医療法人爽神堂 七山病院	院長	研修実施責任者
フリガナ ナカムラ マサキ 姓 中村 名 公紀	橋本市民病院	臨床研修センター長	研修実施責任者
フリガナ イノキ タツ 姓 猪木 名 達	社会医療法人畿内会 岡波総合病院	理事長 院長	研修実施責任者
フリガナ サカナカ ヒデキ 姓 坂中 名 秀樹	社会医療法人 清恵会 清恵会病院	副院長	研修実施責任者
フリガナ ミヤタケ ジュンイチ 姓 宮武 名 淳一	医療法人 春秋会 城山病院	主任部長	研修実施責任者
フリガナ オオハラ トシタケ 姓 大原 名 俊剛	大阪府富田林保健所	所長	研修実施責任者
フリガナ ナカジマ セイジュン 姓 中嶋 名 靖潤	四天王寺和らぎ苑	医療技術部長	指導医 研修実施責任者
フリガナ ナガミネ ヤスロウ 姓 長峯 名 保郎	医療法人樫本会 樫本病院	副院長	指導医 研修実施責任者
フリガナ テシマ シゲル 姓 豊島 名 茂	医療法人頌徳会 日野病院	院長	研修実施責任者
フリガナ ワタベ ケン 姓 渡部 名 憲	堺若葉会病院	総務課 課長	研修実施責任者
フリガナ フクシマ キョウジ 姓 福島 名 強次	ふくしまこどもクリニック	院長	指導医 研修実施責任者
フリガナ サカモト シゲル 姓 阪本 名 繁	くしもと町立病院	院長	指導医 研修実施責任者
フリガナ カナザキ ミツハル 姓 金崎 名 光治	かなざきこどもクリニック	院長	指導医 研修実施責任者
フリガナ クスモト ヨシオ 姓 楠本 名 義雄	すくよか	副施設長	指導医 研修実施責任者
フリガナ ヤギ カズロウ 姓 八木 名 和郎	八木医院	院長	指導医 研修実施責任者
フリガナ ナイトウ ノリカツ 姓 内藤 名 方克	特定医療法人仁生会 内藤病院	病院長	研修実施責任者
フリガナ ワケ コウゾウ 姓 和気 名 浩三	医療法人和気会 新生会病院	院長	研修実施責任者
フリガナ カンベ アキラ 姓 神戸 名 章	医療法人 かんべ診療所	院長	研修実施責任者
フリガナ モリカワ エイジ 姓 森川 名 栄司	森川クリニック	院長	研修実施責任者



## 6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数(令和5年度開催回数 3回)

(No.)

構成員の氏名等

病院施設番号:030514

大学病院の名称:近畿大学病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ マエダ シゲナリ 姓 前田 名 重成	医療法人順心会 前田クリニック	院長	研修実施責任者
フリガナ ハブ ヒロフミ 姓 土生 名 裕史	医療法人健真会 はぶ医院	院長	研修実施責任者
フリガナ クボ ヒロカズ 姓 久保 名 裕一	くぼ内科	院長	指導医 研修実施責任者
フリガナ モリモト ヤスオ 姓 森本 名 康夫	森本小児科医院	院長	研修実施責任者
フリガナ フジシマ イチロウ 姓 藤島 名 一郎	浜松市リハビリテーション病院	病院長	研修実施責任者
フリガナ ナガイ ヤスノリ 姓 永井 名 康徳	たんぽぽクリニック	理事長	研修実施責任者
フリガナ ナカニシ キンヤ 姓 中西 名 欣也	友愛会病院	脳神経統括部長	研修実施責任者
フリガナ イチカワ ツトム 姓 市川 名 勉	内海町いちかわ診療所	理事長	研修実施責任者
フリガナ オオサワ ヒデトシ 姓 大澤 名 英寿	おおさわクリニック	院長	研修実施責任者
フリガナ フジタ シンスケ 姓 藤田 名 真輔	ふじたこどもクリニック	院長	指導医 研修実施責任者
フリガナ ミヤザワ トモキ 姓 宮沢 名 朋生	社会医療法人啓仁会 堺咲花病院	小児科部長	研修実施責任者
フリガナ オカハラ ヒトシ 姓 岡原 名 仁志	おげんきクリニック	院長	研修実施責任者
フリガナ アmano トモノリ 姓 天野 名 知徳	医療法人徳洲会 吹田徳洲会病院	循環器内科部長	研修実施責任者
フリガナ ナカタニ ムネヒロ 姓 仲谷 名 宗裕	仲谷診療所	院長	研修実施責任者
フリガナ オカモト アツシ 姓 岡本 名 充史	内科おかもとクリニック	院長	研修実施責任者
フリガナ シバモト ケイジ 姓 芝元 名 啓治	大阪府医師会	会長	外部委員
フリガナ ニシムラ セイコ 姓 西村 名 靖子	地域住民代表		外部委員
フリガナ オクムラ マサヒコ 姓 奥村 名 雅彦	森ノ宮医療大学	教授	外部委員

## 12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

様式A-10別紙2

既に番号を取得している大学病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称： 近畿大学病院
病院施設番号： 030514

区分	内科	救急部門	外科	麻酔科	小児科	産婦人科	精神科	その他研修を行う診療科					
								脳神経外科	心臓血管外科	整形外科	皮膚科	形成外科	泌尿器科
年間入院患者実数 ( )内は救急件数又は分娩件数	9,806	603 (10,418)	1,808	132	1,179	1,325 (209)	0	1,004	476	1,050	670	454	989
年間新外来患者数	5,805	0	1,943	3,677	1,080	1,032	1,114	1,238	425	1,651	2,355	1,100	1,304
1日平均外来患者数 ( )内は年間外来診療日数	940.2 (243)	0	149.7 (243)	48.8 (243)	57.1 (243)	68.3 (243)	84.6 (243)	48 (243)	19.2 (243)	107.1 (243)	126.2 (243)	24.1 (243)	86.3 (243)
平均在院日数	11.8	10.3	14	2.5	8.9	7.6	0	15.8	17.8	16.8	9.4	7.3	8.4
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	163 (83)	7 (6)	52 (22)	23 (15)	26 (13)	18 (6)	12 (5)	19 (8)	6 (2)	15 (7)	22 (5)	8 (3)	14 (7)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11. の救急医療の実績の前年度の件数及び15. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。(様式任意)

## 12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

様式A-10別紙2

区分	その他研修を行う診療科											合計		
	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	E R	リハビリ	東洋医学	臨床検査	病理診断	その他	研修医				
年間入院患者実数 ( )内は救急件数又は分娩件数	2,705	960	163	227	0	0	0	0	0	0		23,551		
年間新外来患者数	3,371	1,761	979	1,708	0	87	0	0	15			30,645		
1日平均外来患者数 ( )内は年間外来診療日数	137.1 (243)	98.3 (243)	74.9 (243)	18.9 (243)	0 (243)	5.6 (243)	0	0	12					
平均在院日数	2.6	12.7	3.7	1.1	0	0	0	0	0					
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	23 (8)	16 (6)	19 (8)	1 (1)	4 (4)	1 (1)	2 (2)	7 (4)	34 (0)	79 (0)	571 (216)			

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11. の救急医療の実績の前年度の件数及び15. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。(様式任意)

7. 病院群の構成等

様式A-10別表

基幹型又は地域密着型臨床研修病院の名称（所在都道府県）近畿大学病院（大阪府）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
大阪府	南河内	(病院施設番号:030514)		大阪府	中河内		若草第一病院 (病院施設番号:030512)		大阪府	南河内		大阪府立富田林保健所 (病院施設番号:032910)		近畿大学病院初期臨床研修プログラム	32
			大阪府	南河内		大阪南医療センター (病院施設番号:030513)		大阪府	南河内		四天王寺和らぎ苑 (病院施設番号:035050)		近畿大学病院周産期・小児科・産婦人科プログラム	4	
			大阪府	泉州		市立岸和田市民病院 (病院施設番号:030518)		大阪府	南河内		樫本病院 (病院施設番号:035053)				
			大阪府	泉州		りんくう総合医療センター (病院施設番号:030519)		大阪府	堺市		日野病院 (病院施設番号:035189)				
			大阪府	大阪市		大手前病院 (病院施設番号:030534)		大阪府	堺市		堺若葉会病院 (病院施設番号:066194)				
			和歌山県	田辺		南和歌山医療センター (病院施設番号:030590)		大阪府	南河内		ふくしまこどもクリニック (病院施設番号:066195)				
			大阪府	堺市		ベルランド総合病院 (病院施設番号:030777)		和歌山県	新宮		くしもと町立病院 (病院施設番号:066196)				
			大阪府	泉州	削除	泉大津市立病院 (病院施設番号:030867)		大阪府	堺市		かなざきこどもクリニック (病院施設番号:066221)				
			奈良県	中和保健		大和高田市立病院 (病院施設番号:030899)		大阪府	南河内		すくよか (病院施設番号:066229)				
			大阪府	南河内		大阪済生会富田林病院 (病院施設番号:030927)		大阪府	堺市		小児科 八木医院 (病院施設番号:076933)				
			大阪府	南河内		松原徳洲会病院 (病院施設番号:030948)		大阪府	大阪市		内藤病院 (病院施設番号:076934)				
			大阪府	泉州		市立貝塚病院 (病院施設番号:031009)		大阪府	泉州		新生会病院 (病院施設番号:076935)				
			大阪府	南河内		医療法人春秋会 城山病院 (病院施設番号:031022)		大阪府	南河内		かんべ診療所 (病院施設番号:106141)				
			大阪府	堺市		馬場記念病院 (病院施設番号:031046)		大阪府	南河内		森川クリニック (病院施設番号:106143)				
			大阪府	南河内		PL病院 (病院施設番号:031064)		大阪府	南河内	削除	前田クリニック (病院施設番号:106146)				
			和歌山県	橋本		橋本市市民病院 (病院施設番号:031111)		大阪府	南河内		はぶ内科 (病院施設番号:106147)				
奈良県	西和		近畿大学奈良病院 (病院施設番号:031131)		大阪府	南河内		くぼ内科 (病院施設番号:106148)							

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院				臨床研修協力施設				研修プログラム			
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
				大阪府	中河内		医療法人 養心会 国分病院 (病院施設番号:031755)		大阪府	南河内		森本小児科医院 (病院施設番号:116482 )			
				大阪府	中河内	削除	市立藤井寺市民病院 (病院施設番号:031766)		静岡県	静岡県西部		浜松市リハビリテーション病院 (病院施設番号:168303)			
				大阪府	堺市		阪南病院 (病院施設番号:031767)		愛媛県	松山市		たんぼぼクリニック (病院施設番号:168306 )			
				大阪府	南河内		青葉丘病院 (病院施設番号:031770)		大阪府	大阪市		友愛会病院 (病院施設番号:168307 )			
				大阪府	泉州		医療法人 桐葉会 木島病院 (病院施設番号:031775)		広島県	福山市		いちかわ診療所 (病院施設番号:168309 )			
				大阪府	大阪市		育和会記念病院 (病院施設番号:031783)		大阪府	泉州		おおさわクリニック (病院施設番号: )			
				三重県	中勢伊賀		社会医療法人畿内会 岡波総合病院 (病院施設番号:035115)		大阪府	南河内	削除	医療法人藤広育生会 ふじたこどもクリニック (病院施設番号:178599 )			
				大阪府	堺市		社会医療法人清恵会 清恵会病院 (病院施設番号:040069)		大阪府	堺市		社会医療法人 啓仁会 堺咲 花病院 (病院施設番号: )			
				大阪府	泉州		医療法人 爽神堂 七山病院 (病院施設番号:066106)		山口県	柳井		医療法人おかはら会 おげんき クリニック (病院施設番号: )			
				大阪府	豊能		医療法人徳洲会 吹田徳洲会病院 (病院施設番号:168249)		大阪府	南河内		仲谷診療所 (病院施設番号: )			
									大阪府	南河内		内科おかもとクリニック (病院施設番号: )			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

一般外来研修とへき地医療を経験するため

- ※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。
- ※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。
- ※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。